

**全国初！！市内中小企業による地域貢献型のネーミングライツ
新横浜駅北口公衆トイレの愛称は**

ドゥ アメニティ 新横浜駅前 トイレ診断士の^{かわやどう}厠堂^ととなります！

～株式会社アメニティとネーミングライツ契約を締結～

明日（11月8日）

リニューアルオープン

平成 22 年 12 月 21 日から 1 か月間、提案募集型のネーミングライツを公募したところ、「新横浜駅北口公衆トイレ」に対する提案がありました。

この度、「ネーミングライツ導入に関するガイドライン」に基づく手続きを経て、契約内容について合意に達しましたので、10 月 20 日付けでトイレの総合メンテナンス事業を行っている株式会社アメニティとネーミングライツ契約を締結しました。

10 月 24 日から 11 月 7 日まで LED 照明への変更など初期作業を行い、明日（11 月 8 日）からリニューアルオープンします。

本件は、市内中小企業による初めての応募事例であり、ネーミングライツの対価を金銭ではなく、物品・役務の提供（トイレの衛生設備や維持管理などに要する費用）として設定する初事例でもあります。地元企業が、ネーミングライツを通じて、自社事業と関連する公共施設の維持管理を応援する地域貢献型のネーミングライツとなっています。

1 ネーミングライツ契約の概要

(1) 愛称

「ドゥ アメニティ 新横浜駅前 トイレ診断士の厠堂」

※略称「新横浜駅前 トイレ診断士の厠堂」「トイレ診断士の厠堂」

(2) 期間

平成 23 年 10 月 20 日から平成 26 年 10 月 19 日まで（3 年間）

(3) ネーミングライツの対価

トイレの快適性向上と適切な維持管理等のための役務提供を対価とします。

衛生設備の設置(初期作業) (1年目のみ:360万円相当)	役務の提供(初期作業) (1年目のみ:50万円相当)	役務の提供(維持管理作業) (毎年:50万円相当)
ア 和式から洋式便器への交換工事 イ LED 照明器具取付け ウ 床面タイル貼り替え エ 手指乾燥機等の機器設置 オ 消臭器設置 等	ア 便器洗浄 イ 洗面台洗浄 ウ 壁面洗浄 等	ア 定期パトロール イ 消耗品補充、交換、簡易清掃等のメンテナンス ウ 日常トイレ清掃員への清掃アドバイス（日常清掃はこれまで通り清掃業者への委託により行い、その清掃員へのアドバイスを実施）等

(4) 決定経緯

平成 23 年 1 月 21 日、株式会社アメニティから提案を受け、審査委員会における審査、市民・関係者意見聴取を経て、平成 23 年 10 月 20 日に契約を締結しました。

《裏面あり》

2 株式会社アメニティの概要

- (1) 所在地 横浜市神奈川区羽沢町685番地
- (2) 代表者名 代表取締役 山戸 里志 (やまと さとし)
- (3) 設立 1989年(平成元年)12月6日
- (4) 事業概要 独自の製品・システムによるトイレ総合メンテナンスのフランチャイズ本部



<参考>

本ネーミングライツ事例については、11月12日から13日にかけて開催される「横浜国際トイレフォーラム2011(第27回全国トイレシンポジウム)」(別紙参照)において、株式会社アメニティより紹介される予定です。

3 新横浜駅北口公衆トイレの概要

- (1) 所在地 港北区新横浜二丁目1
- (2) 規模 男 大2、小3、多目的1
女 大2、多目的1
- (3) 供用開始 昭和63年4月
- (4) 敷地面積 118.08m²(道路占用)
- (5) 建築面積 36.336m²



【実施前の写真】



【位置図】



【実施後の写真】

4 横浜市のネーミングライツについて

横浜市では、安定的な財源確保により持続可能な施設の運営を行い、また民間の資金やノウハウ等を活用しながら施設の魅力を高めるため、『ネーミングライツ導入に関するガイドライン』によりネーミングライツの導入を進めています。今回は企業等から提案を頂く「提案募集型ネーミングライツ」の手法による第3号案件となり、本市でのネーミングライツ導入実績は6件となります。

- 導入施設：
- (1) 日産スタジアム
 - (2) ニッパツ三ツ沢球技場
 - (3) はまぎんこども宇宙科学館
 - (4) 俣野公園・横浜薬大スタジアム<提案募集型>
 - (5) ベイクォーターウォーク<提案募集型>
 - (6) ドゥ アメニティ 新横浜駅前 トイレ診断士の廁堂<提案募集型>

お問い合わせ先

資源循環局業務課長 金高 隆一 Tel 045-671-2532

政策局共創推進課長 福島 雅樹 Tel 045-671-4391



11.12-13

NOV.12-13

横浜国際トイレフォーラム2011

YOKOHAMA INTERNATIONAL TOILET FORUM 2011

第27回全国トイレシンポジウム

THE 27TH TOILET SYMPOSIUM

市民の命と暮らし／災害とトイレ



日時：2011年11月12日(土)9:00開場 9:30-18:00 13日(日)9:15集合 9:30-16:00

場所：第1日目 神奈川大学 横浜キャンパス 16号館セレストホール

第2日目 テクニカルツアー (横浜市中区, 関内・みなとみらい地区 / 集合場所: 横浜駅東口ホステル14番)

主催：神奈川大学, 日本トイレ協会

後援：(社)日本建築学会 / (社)日本建築家協会 / (一社)日本福祉のまちづくり学会 / 都市環境デザイン会議 / 鎌倉バリアフリー研究会

協賛：TOTO(株) / (株)LIXIL / 日本衛生設備機器工業会 / 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)

参加費：無料, 概要集1,000円

事務局：◇日本トイレ協会 連絡所: 設計事務所ゴンドラ (浅井, 日向寺) TEL 03-5805-3556

◇神奈川大学 総務部 (鈴木, 能重) TEL 045-481-5661

プログラム <1日目>

開会 趣旨説明

主催者挨拶

来賓挨拶

第1部 基調講演

第2部 基調報告

第3部 パネルディスカッション
／災害時における
トイレの諸問題と防災

第4部 座談会
～日本のトイレ「これは
良い」、「これは変」～

第5部 プレゼンテーション
セッション

○ グッドトイレ選奨 審査会

○ 交流会

プログラム <2日目>

実行委員長 高橋志保彦

日本トイレ協会会長 平田純一, 神奈川大学学長 中島三千男

横浜市副市長 小松崎隆

●台湾のトイレの先進事例と防災対策

●NEXCO中日本のトイレに対する試み

●災害時における帰宅困難者とトイレ

●避難場所の緊急トイレの工夫

●被災市民のトイレ問題と尊厳

●横浜のトイレ

<コーディネーター> 坂本菜子 (コソフォ研究代表), 高橋志保彦 (建築家)

<パネリスト> 田村友輝 (国分寺産業), 秋山高広 (横浜市資源循環局), 熊谷耕造 (自衛隊神奈川地方協力本部)

<コーディネーター> 呉明修, 慎重進

<アドバイザー> 菅原文彦

<コーディネーター> 堀野定雄 (神奈川大学)

<パネリスト> 海外からの留学生 (イリ, オーストラリア, 韓国, 中国, デンマークから神大への留学生)

日本での生活者
呉明修, 慎重進, 嶋田昌子

●新東名高速道路における快適なトイレ空間の導入に向けた取り組みについて 山本浩司 (中日本高速道路(株))

●小便器の清掃を快適に行うアイテムの誕生 星野延幸 (7-Min代表)

●薬用フォームソープの殺菌・ウイルスに対する効力について 佐川輝男 (日本カミツカ(株)企画開発室)

●トイレ診断について 山戸伸孝 (株)7-Min専務取締役

●学校トイレの維持管理を応援する情報サイト「学校トイレ.com」 村上八千世 (アクトエ7研究所)

●「多機能トイレ×IT」Check A Toiletについて 金子健二 (NPO法人Check 代表理事)

神奈川大学19号館 生協食堂 LUXホール

テクニカルツアー／横浜中区及び関内・みなとみらい地区めぐり

<午前>バスにて観光地をめぐるエクスカッション<ノスタルジック横浜> (含 三溪園臨春閣非公開トイレ見学)

<午後>中華街⇒山下公園⇒開港広場⇒赤レンガパーク (北朝鮮沈没船公開展示)



■アクセス



■キャンパスマップ



■会場外観 (16号館)



■会場内観 (セレストホール)